

サイディア・フラハ

ケニアにある子どもと女性を支援する NGO 団体。地域の子どものための幼稚園・小・中学校と女子の児童養護施設を運営。養護施設では、将来の自立に向けて職業訓練も行う。定期的に行われる現地からのオンラインでは、様々な挑戦をする子どもたちに出会うことができる。日本聖公会婦人会の HP で視聴可。

支援額 40万円



ヘリ基地反対協の働きのため 沖縄教区

沖縄戦終結から 80 年。米軍による地上戦で、住民を含む 24 万人の命が奪われた。今も米軍基地の 70% が沖縄県にある。戦闘機の騒音や事故、女性や子どもへの暴力事件。基地のない平和な暮らしを願う沖縄の人々の生活は、今も基地と共にある。県民の声を無視して、辺野古の海を埋め立てて、新たなヘリ基地の建設を進めている。このヘリ基地反対運動のために用いられる。

支援額 10万円

ムクウェゲ医師の社会啓発活動の支援 日本の NPO 法人 RITA-Congo を通じて

コンゴ民主共和国では鉱物資源を巡る紛争が絶えない。特にパソコン・スマホ・ゲーム機などに使われるレアメタルを手に入れるために、武装勢力が侵入し、女性や子どもたちへの性的暴力が行われる。産婦人科医のムクウェゲ氏は、この人権問題と紛争鉱物問題の解決のために各国が責任を持つように呼びかけている。日本の NPO 法人 RITA-Congo は長年この活動を支援し、調査研究・講演活動を行っている。

支援額 20万円



2025 年度 感謝箱献金 お献げ先のご紹介



NPO 法人ワンダタイム

中部教区

長野県小布施にある新生病院はカナダミッシェンの精神を受け継ぎ、海外医療協力事業を行っている。バングラデシュのダッカにあるジョイラムクラ・クリチャン病院へ 12 月 26 日～1 月 4 日に、医師 4 名を派遣することを計画中。

支援額 10万円

アトゥトゥ ミャンマー

年軍事クーデターから 4 年、ミャンマーでは、民主化を求める人々との、戦いが続いている。今年 3 月 28 日に大地震が起き、北部を中心に大きな被害が発生した。支援活動が続けられているが、6 月現在の国内避難民は約 352 万人。タイの国境付近に避難中の子どもたちの移民学校では、昼食支援を実施している。ミャンマーの人々が、平和な生活を取り戻すことを祈りながら、アトゥトゥと共に、歩む。

支援額 20万円



国際子ども学校 ELCC

中部教区

フィリピンにルーツをもつ子どもたちの学校として、1998 年、名古屋学生青年センターが設立・運営。日本語や日本の習慣を身につけ、就学準備をするための学校であり、居場所。外国人労働者として働く保護者の収入が安定せず、月謝の支援が必要。最近の傾向は義務教育年齢を過ぎて来日する年令の子どもが増えている。日本の社会に慣れるために必要な場所となっている。

支援額 20万円

地域支援団体 釜石支援センター望

東北教区

東日本大震災時、日本聖公会釜石支援センターの活動後に設立された地域支援団体。震災から 14 年、地域のコミュニティ作りを中心に、地元と県内外のボランティアと共に活動している。被災者の方々は今も震災のことを昨日のことに思い出し、行き場のない気持ちと折り合いをつけながら日々生活されている。

支援額 10万円

災害被災者・東日本大震災被災者支援積立金

東日本大震災から 14 年、能登半島地震から 1 年半、今も復興途中。その間にも国内外で災害が起きる。被災者の方々の命と安全が守られることを祈りながら、早く支援が行えるように資金を準備しておく必要がある。2023 年から 3 年間毎年 30 万円を積み立てる。



全国の皆様から 2024 年度にお献げ頂いた感謝箱献金は約 166 万円でした。お献げ先については第 28(定期)総会で審議され、今年は 7 団体へ。

◇2025 年度のお献げ先は、各教区婦人会、日聖婦役員会・感謝箱献金事務局より議案提出され、第 28(定期)総会後第 1 回会長会で審議いたします。